

ASBJ Newsletter



目次

1. 企業会計基準等の開発（2014年4月1日～2014年5月31日）
2. 企業会計基準委員会の概要（第285回～第288回）
3. IASB及びFASFに対するASBJのコメント（2014年4月1日～2014年5月31日）
4. FASFとの第16回定期協議をノーウォークで開催
5. FASF理事の異動
6. その他の委員会（業務推進委員会）委員及び委員長を選任
7. FASFセミナー「有価証券報告書作成上の留意点（平成26年3月期提出用）」を開催
8. ASBJオープン・セミナー特別講演～IASBの新しい会計基準について～を開催
9. お知らせ
 - 1) 刊行物のご案内
 - 2) ASBJ Webセミナーのご案内
 - 3) FASF Webセミナーのご案内

《ご注意》本文中のハイパーリンク先につきましては、一部、財務会計基準機構の会員限定サイトとなっており、一般の皆様にはご覧頂けないこともございます。あらかじめご了承ください。

1. 企業会計基準等の開発 (2014 年 4 月 1 日～2014 年 5 月 31 日)

- 1) 【Final】[改正企業会計基準第 12 号「四半期財務諸表に関する会計基準」](#)及び[改正企業会計基準適用指針第 14 号「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」](#)の公表 (2014 年 5 月 16 日)

【凡例】

ED：公開草案

Final：会計基準/適用指針等 (最終)

2. 企業会計基準委員会の概要 (第 285 回～第 288 回)

1) [第 285 回 \(2014 年 4 月 14 日開催\)](#)

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">a. 委員会運営について (非公開)b. IASB における保険契約プロジェクトの検討状況c. IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況d. 基準諮問会議からの提言への対応について |
|---|

- a. 小野新委員長の就任に伴い、新井副委員長及び小賀坂副委員長の副委員長継続が確認されました。
- b. IASB が 2013 年 6 月 20 日に公表した改訂公開草案「保険契約」及び FASB が同月 27 日に公表した会計基準更新書案「保険契約 (トピック 834)」に関するコメント受領後の IASB 及び FASB での再審議の状況と、これらに関する保険契約専門委員会での議論に関する説明がなされ、審議が行われました。
- c. 第 11 回の作業部会において議論が行われた、「のれんの非償却」、「資本性金融商品の OCI オプション」、「退職給付に関する再測定部分」及び「公

正価値オプションを選択した金融負債の自己の信用リスク」の論点について、さらに検討を深めるために、仮に「削除又は修正」を行った場合にどのような条項の内容になるかについて説明がなされ、審議が行われました。

- d. 第 284 回企業会計基準委員会における基準諮問会議からの提言への対応について審議が行われ、「ヘッジ会計の限定的な見直し」を新規テーマとし、金融商品専門委員会において対応することとなりました。

2) [第 286 回 \(2014 年 4 月 30 日開催\)](#)

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">a. ASAF 対応専門委員会における検討状況b. 企業結合会計基準の改正に伴う四半期会計基準の改正についてc. 税効果会計専門委員会における検討状況 |
|---|

- a. ASAF 対応専門委員会で議論された、IASB における「概念フレームワーク」プロジェクトの検討状況及び IASB が 2014 年 3 月 25 日に公表した公開草案「IAS 第 1 号『財務諸表の表示』の修正案」へのコメント対応並びに開示に関する取組みのうち「債務の変動」の 2014 年 3 月の IASB ボード会議の審議内容について説明がなされ、審議が行われました。
- b. 企業会計基準公開草案第 56 号 (企業会計基準第 12 号の改正案)「四半期財務諸表に関する会計基準 (案)」及び企業会計基準適用指針公開草案第 51 号 (企業会計基準適用指針第 14 号の改正案)「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針 (案)」に対する主なコメントの概要とその対応案について説明がなされ、検討が行われました。

c. 税効果会計専門委員会で議論された現行の実務指針に関する課題の今後の検討の進め方の説明とその進め方を踏まえてグループ分けされた一部の論点についての説明がなされ、審議が行われました。

3) 第 287 回 (2014 年 5 月 15 日開催)

- a. 2014 年 6 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) への対応
- b. その他の包括利益に関するショート・ペーパーの公表について
- c. IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況
- d. 企業会計基準「四半期財務諸表に関する会計基準 (案)」及び企業会計基準適用指針「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針 (案)」
- e. リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームにおける借手の会計処理等に関する実務上の取扱いについて

- a. 2014 年 6 月 ASAF の議題のうち、持分法についての説明が行われました。
- b. その他の包括利益に関するショート・ペーパーの公表について説明がなされ、審議・採決が行われ、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認されました。
- c. 第 13 回の IFRS のエンドースメントに関する作業部会において議論が行われた、公開草案の公表に向けて会計基準の様式等を検討するために、仮にのれんの非償却及びリサイクリング及び当期純利益について「削除又は修正」を行うとした場合の取扱いを例として、「修正版 IFRS の公開草案の公表に当たって」などについて説明がなされ、審議が行われました。

d. 企業会計基準「四半期財務諸表に関する会計基準 (案)」及び企業会計基準適用指針公開草案「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針 (案)」について説明がなされ、審議・採決が行われ、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認されました。

e. リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームについて、リース会計専門委員会で審議内容を踏まえた実務対応報告の文案に関する説明がなされ、審議が行われました。

4) 第 288 回 (2014 年 5 月 29 日開催)

- a. 2014 年 6 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) への対応
- b. 欧州財務報告諮問グループ (EFRAG) 事業モデルに関するリサーチ・ペーパーへのコメント対応
- c. IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況
- d. リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームにおける借手の会計処理等に関する実務上の取扱いについて
- e. 税効果会計専門委員会における検討状況

- a. 2014 年 6 月開催の ASAF における議題の紹介と、そのうち、概念フレームワーク、開示の取組み等に関して、ペーパーの概要と ASBJ からの発言案が説明され、審議が行われました。
- b. 2013 年 12 月に EFRAG から公表されたリサーチ・ペーパー「財務報告における事業モデルの役割」に関する ASBJ からのコメント案について説明され、審議が行われました。
- c. 第 13 回の作業部会において議論が行われた、公開草案の公表に向けての会計基準

の様式等の検討に関して、仮にのれんの非償却、リサイクル及び当期純利益について「削除又は修正」を行うとした場合の取扱いを例とした資料の説明がなされ、審議が行われました。

- d. 実務対応報告公開草案第 40 号「リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームにおける借手の会計処理等に関する実務上の取扱い（案）」に対するコメントの概要とその対応案について説明がなされ、検討が行われました。
- e. 第 4 回税効果会計専門委員会で議論された繰延税金負債の支払可能性、税効果会計に適用される税率が変更された場合の取扱い等の論点についての説明がなされ、審議が行われました。

3. IASB及びFASBに対するASBJのコメント（2014年4月1日～2014年5月31日）

- 1) [情報要請 適用後レビュー: IFRS 第 3 号「企業結合」の回答](#)を提出（2014年5月30日）

4. [FASBとの第 16 回定期協議をノーウォークで開催](#)

ASBJ と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2014年4月第1週にノーウォーク（米国）で会合を開催し、お互いの活動の最新状況を確認するとともに、両設定主体が現在関心を有しているテクニカルな項目について議論を行いました。この会合は、高品質なグローバルな会計基準の開発へ向けて連携を深めるために、ASBJ と FASB が年に 2 回、定期的に行っているもので、今回で第 16 回目となりました。

今回の会合において、ASBJ と FASB は、FASB が現在審議を行っている「金融商品」、「のれん」及び「開示フレームワーク」について議論を行ったほか、国際会計基準審議会（IASB）が現在審議を行っている「概念フレームワーク」、「リース」及び「料金規制対象活動」についても議論を行いました。また、ASBJ が現在実施している IFRS のエンドースメント手続についても議論を行いました。

ASBJ と FASB は、引き続き、直面する課題や今後想定される懸案事項について意見交換していくことに同意しました。なお、次回の会合は 2014 年下期に東京で開催する予定です。

5. FASF理事の異動

FASF では、2014年3月31日付で1名の理事が退任されました。また、同年5月14日の評議委員会決議により理事1名の選任をしました。

（退任理事）

和田 耕志 一般社団法人全国銀行協会
副会長兼専務理事

（退任日：3月31日）

（就任理事）

高木 伸 一般社団法人全国銀行協会
副会長兼専務理事

（就任日：5月14日）

6. その他の委員会（業務推進委員会）委員及び委員長の選任

FASF は、その他の委員会（業務推進委員会）委員及び委員長の任期が 2014 年 6 月 11 日に開催する評議員会の終結の時をもって満了することに伴い、2014 年 5 月 27 日開催した理事会において、新たな委

員及び委員長の選任を決議しました。

○業務推進委員会

委員長:都 正二 公益財団法人財務会計基準機構 代表理事常務

委員:小野 行雄 企業会計基準委員会委員長

委員:新井 武広 企業会計基準委員会副委員長

委員:小賀坂 敦 企業会計基準委員会副委員長

7. FASFセミナー「有価証券報告書作成上の留意点(平成26年3月期提出用)」を開催

FASFでは、4月1日より東京(3回)、大阪、名古屋、福岡、広島、高松、金沢、仙台、札幌の全国9都市、11回にわたって「有価証券報告書の作成要領(平成26年3月期提出用)」のセミナーを開催しました。当セミナーでは、有価証券報告書の作成にあたっての留意点の説明のほか、金融庁総務企画局企業開示課によるディスクロージャー制度をめぐる最近の動向についての説明も行われました。

セミナーの参加者は、延べ約3,000人と関係者の関心の高さを伺わせる、盛況なものとなっています。

なお、当セミナーにおいて説明した内容を基に、「有価証券報告書作成上の留意点(平成26年3月期提出用) FASF Web セミナー」を会員の方向けに6月末まで配信しておりますので、こちらもご活用下さい。



8. ASBJオープン・セミナー特別講演～IASBの新しい会計基準について～を開催

FASFでは、企業会計基準を巡る最新情報を提供することを目的に、ASBJオープン・セミナーを全国主要都市において開催しています。

2014年6月5日、当セミナーの特別講演として、国際会計基準審議会(IASB)が公表している国際財務報告基準(IFRS)の開発に関する作業計画における主要なプロジェクトのうち、IASBと米国財務会計基準審議会(FASB)が2014年5月28日に公表した収益認識に関する会計基準及び金融商品に関する会計基準(分類及び測定、金融資産の減損等)に関する基準開発の動向について、Sue Lloyd IASB 理事、Henry Rees IASB テクニカルディレクターによる解説が行われました。

Sue Lloyd IASB 理事は金融商品会計プロジェクト、Henry Rees IASB テクニカルディレクターは収益認識プロジェクトに直接関与しており、基準の草案の担当者が説明するという貴重な機会となりました。



9. お知らせ

1) 刊行物のご案内

- ① 機関誌「季刊 会計基準」第 45 号
(2014 年 6 月 13 日刊行)

【主な内容】

- ✓ 特集：座談会「国際的な会計人材の発掘・育成に向けて」
- ✓ Accounting SQUARE：“資本市場における会計基準のあり方”…清田 瞭 (株)東京証券取引所 代表取締役社長
- ✓ CFO Letter：“IFRS に対する思いと期待～個人的な雑感を交えて～”…大津 修二 (株)バンダイナムコホールディングス 取締役 管理本部長
- ✓ ご挨拶：“企業会計基準委員会委員長就任にあたって”…小野 行雄 ASBJ 委員長、“委員長在任期間を振り返って”…西川 郁生 ASBJ 前委員長／慶應義塾大学教授

- ②有価証券報告書の作成要領（平成 26 年 3 月期提出用）

本書では、平成 26 年(2014 年)3 月期の有価証券報告書を作成する上での各項目の記載事例や根拠条文等のほか、作成上の留意点を掲載しています。

- ③国際財務報告基準(IFRS)2013 IFRS 財団公認日本語版

IASB が公表した IFRS の全内容を収録した公式出版物「International Financial Reporting Standards 2013」の日本語版。2012 年中の改定内容をフォローして 2013 年 1 月 1 日現在で公表されている基準書等を掲載した最新版であり、合計 3600 頁以上に及ぶ原書の全文が翻訳されています。

基準書である IFRS（第 1 号～第 13 号）及び IAS（第 1 号～第 41 号）、解釈指針である IFRIC 及び SIC のほか、概念フレームワーク、用語集などを収録しています。強制力のある要求事項（基準本文、適用指針）を収録した Part A と、強制力のない付属文書（結論の根拠、適用ガイダンス、設例等）を収録した Part B との 2 分冊となっています（分売不可）。

今年版の主な改定内容は、「投資企業」（IFRS 第 10 号、IFRS 第 12 号及び IAS 第 27 号の修正）、「経過措置ガイダンス：連結財務諸表、共同支配の取決め及び他の企業への関与の開示」（IFRS 第 10 号、IFRS 第 11 号及び IFRS 第 12 号の修正）、「IFRS の年次改善 2009－2011 年サイクル」などとなっています。

※ご購入は[こちら](#)。

※第 30 号より、FASF 会員の皆様は、季刊会計基準に掲載される記事が[ホームページ\(会員専用サイト\)よりご覧になることができます](#)。どうぞご利用ください。

2) [ASBJ Webセミナーのご案内](#)

ASBJ/FASF では、FASF 会員の皆様に ASBJ の開発する会計基準や ASBJ/FASF の活動をより分かりやすく

効率的に理解していただくために、Webセミナーをホームページ(会員専用サイト)で提供しています。

なお、最近では、企業結合に関する会計基準等の改正を2014年6月4日より掲載しておりますので、会員の皆様はどうぞご利用ください。

3) FASF Webセミナーのご案内

① 有価証券報告書作成上の留意点(平成26年3月期提出用) FASF Webセミナー

FASFでは、恒例の「有価証券報告書作成上の留意点」のセミナーを、2014年4月1日から11日にかけて、全国9か所(計11回)にて開催しました。

同セミナーを基に、FASFが毎年発行している「有価証券報告書の作成要領」の昨年度からの改正点、単体開示の簡素化に伴う留意点を説明するWebセミナーとして、標記セミナーをホームページ(会員専用サイト)に掲載しております。会員の皆様はどうぞご利用ください。

(2014年6月末までの配信)

② 開示実務新任者向けFASF Webセミナー

FASFでは、開示実務新任者向けの解説セミナーを2013年9月13日に大阪、同月17日に東京で開催しました。

同セミナーを基に、FASF発行の有価証券報告書の作成要領及び四半期報告書の作成要領を利用する上で必要と思われる知識、企業内容等の開示に関する内閣府令や財規等の体系について学ぶ開示の基礎に特化したWebセミナーとして、標記セミナーをホームページ(会員専用サイト)に掲載しております。会員の皆様はどうぞご利用ください。

“ASBJ Newsletter” (第39号)

2014年6月20日発行

発行：企業会計基準委員会／

公益財団法人 財務会計基準機構

東京都千代田区内幸町2-2-2

富国生命ビル20階

禁無断転載

※ご意見・ご要望は下記までお寄せください。

E-mail：planning@asb.or.jp

Fax：03-5510-2712